

第1回岡山県電気機械器具製造業最低賃金専門部会

議 事 要 旨

1 日 時

令和8年9月14日（月） 午後1時00分～

2 場 所

岡山市北区下石井1丁目4番1号

岡山第2合同庁舎 2階共用会議室C

3 出席者

公 益 委 員 ： 2人（欠席1人）

労働者側委員 ： 2人（欠席1人）

使用者側委員 ： 2人（欠席1人）

4 審議事項

- （1）部会長・部会長代理の選任について
- （2）特定最低賃金専門部会の運営について
- （3）資料説明について
- （4）特定最低賃金改正決定の必要性の有無について
- （5）今後の審議日程について
- （6）その他

5 議事要旨

- （1）部会長・部会長代理の選任について

公益委員の互選により、部会長に佐々木委員、部会長代理に國光委員が選任された。

- （2）特定最低賃金専門部会の運営について

今年度の専門部会の運営について、最低賃金審議会令第6条第5項の規定により、全会一致の場合には専門部会の決議を本審の決議として答申することが確認された。

- （3）資料説明について

専門部会に提出した岡山県内における経済指標、雇用情勢等各種資料について、事務局から説明が行われた。

また、岡山県電気機械器具製造業最低賃金専門部会の審議のための基礎資料を得ることを目的として実施した最低賃金基礎調査結果について事務

局から説明が行われた。なお調査結果から推計される未満率は6.6%であったことが報告された。

(4) 特定最低賃金改正決定の必要性の有無について

ア 岡山県電気機械器具製造業最低賃金の改正決定の必要性について審議され、労使双方の委員から以下の意見が述べられた。

【労働者側意見要旨】

- ・ 今次春闘においては、電機連合として継続的な人への投資というなかで、中闘組合において要求水準の確保、回答の引き出しによる基準確保を図ってきた。また、拡大中闘においても精力的な交渉の結果、昨年を上回る水準改善を図ったと捉えている。さらに、高卒、大卒初任給についても産業別の最低賃金の改善と合わせ、要求の改善となった。
- ・ 電機産業における今後の見通しでは、中闘組合企業において、2026年度は前年からの増収増益を見越している年度となっている。今後中東情勢という不安定部分はあるが、デジタル化、カーボンニュートラル、IT、AIにより業績を伸ばしていくという見方もある。
- ・ 雇用者数においても、IT人材、DXの進展のなかで専門人材の確保、採用が進んでいる。
- ・ 電機連合、電機産業全体の見通しのなかで、人手不足による求人の増、未組織の企業、労働者にも賃金水準の改善を図っていききたいこと、岡山県内の産業の発展、経済の好循環を見据えて特定最低賃金を上げたいと考えている。
- ・ そのためにも、特定最低賃金の改定の必要性はあると考える。

【使用者側意見要旨】

- ・ 業種の今の情勢と今後の見通しでは、国内の電気機械器具製造業としては半導体、AI関連投資、脱炭素、省エネ関係、インフラ関係の更新需要等もあり比較的需要は堅調であると認識している。しかし、受注環境、企業規模により濃淡がある。特に中小企業については、取引先の生産計画に左右される部分、在庫調整、価格競争の影響を受けやすい状況にある。また、中東情勢の緊迫化、長期金利の上昇等懸念材料も多く、経営環境も予断を許さない状況にある。
- ・ 雇用情勢においては、製造現場では若年層、ベテラン層等人材確保が非常に難しいこと。岡山県の若年層の人口減少・大学生や工業高校卒業生の県外流出等もあり、県内の人材不足は非常に厳しい状況にあると認識している。
- ・ 最低賃金の改正にあたっては、労働者の処遇改善、人材確保、地域経済の好循環に資するものとして進めたいが、中小企業にとっては、人件費負担増に直結することからよく考える必要がある。
- ・ 物価上昇が労働者の生活に与える影響、人材確保・定着、春闘における賃

上げ動向を踏まえれば、一定の賃上げはやむを得ない。

- ・ 特定最低賃金の改正の必要性ありと認識している。

イ 全会一致により必要性ありの結論に達したことが決議され、報告書を作成した。

ウ 全会一致による決議のため、最低賃金審議会令第6条第5項適用により、岡山労働局長へ答申された。

(5) 今後の審議日程について

- ・ 本日付けで意見聴取について公示すること（公示期間 10 月 5 日まで）。
- ・ 第2回岡山県電気機械器具製造業最低賃金専門部会は 10 月 20 日（火）に開催することが連絡された。

(6) その他

特になし。

6 配布資料

- ・ 岡山県電気機械器具製造業最低賃金専門部会委員名簿
- ・ 特定最低賃金にかかる諮問文（写）
 - ① 特定最低賃金の改正決定の必要性の有無について（諮問）
 - ② 特定最低賃金の改正決定の必要性の有無及び改正決定について（諮問）
- ・ 岡山県金融経済月報（2026 年 9 月 4 日）「日本銀行岡山支店」
- ・ 岡山県内経済情勢報告（令和 8 年 8 月 5 日）「岡山財務事務所」
- ・ 岡山県鉱工業生産・出荷・在庫指数（令和 8 年 6 月分）
「岡山県総合政策局統計分析課」
- ・ 雇用情勢（令和 8 年 7 月）「岡山労働局職業安定課」
- ・ 特定最低賃金基礎調査結果等
- ・ 岡山県最低賃金と特定最低賃金との比較
- ・ 令和 7 年度岡山県最低賃金・特定最低賃金審議経過及び結果一覧表

7 報告書・答申

- ・ 岡山県電気機械器具製造業最低賃金の改正決定の必要性の有無に関する報告書（案）
- ・ 岡山県電気機械器具製造業最低賃金の改正決定の必要性の有無について（答申）（案）